

〔TPN 水和剤（フロアブル）〕

パスポートフロアブル

有効成分：TPN (PRTR・1種) 53.0%

性 状：類白色水和性粘稠懸濁液体
 有効年限：3年
 包 装：500ml × 20本
 1000ml × 10本

パスポートは株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

〔特長〕

- りんごの主要病害に優れた効果がある。
りんごの主要病害であるモニリア病、黒星病、斑点落葉病、褐斑病、炭疽病、すす点病、すす斑病、輪紋病に優れた効果がある。
- ぶどうの休眠期防除で黒とう病、晩腐病に優れた効果がある。
分生子（孢子）の形成と溢出を強く抑制し、第一次感染源を減らす効果が高い。
- 果実の汚れが少ない。
一般に水和剤は薬液散布後に果実に汚れが残るが、本剤はこの汚れの原因であるクレイ等の鉱物質を含んでいないので、散布後の汚れが少ない。
- 耐性菌の確認事例がない。
本剤の有効成分TPNは、広範囲の作物・病害に使用されているが、耐性菌の出現事例はない。
- 散布液の調製が簡単である。
散布液調製時に粉立ちがないので、薬剤を吸引したり、皮膚に付着することが少ない。また、水中分散性が優れており、水に入れると速やかに水に混ざり、散布液を調製するのが簡単である。

〔適用病害と使用方法〕

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	TPNを含む農業 の総使用回数
りんご	モニリア病 黒星病 斑点落葉病	1000~1500	収穫 45日前 まで	3回以内	散 布	3回以内
	褐斑病 すす点病 すす斑病 炭疽病 輪紋病	1000				
かき	落葉病 炭疽病	1500	収穫30日前 まで	1回	3回以内	3回以内 (休眠期：1回以内)
なし	黒斑病	250~400	休眠期			
西洋なし	ごま色斑点病	1000	収穫30日前まで	3回以内	3回以内 (休眠期：1回以内)	
ぶどう	黒とう病	250	休眠期	1回		
	晩腐病	250~400				
芝(ベントグラス)	葉腐病(ブラウンパッチ)	650~1000	発病初期	8回以内	1㎡当り 1ℓ 散布	8回以内
芝(日本芝)	ヘルミントスポリウム葉枯病	1000				

〔適用雑草と使用方法〕

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	TPNを含む 農業の 総使用回数
			薬量	希釈水量			
芝(ベントグラス) 芝(日本芝)	藻類	芝生育期 (藻類発生前)	1.0~1.54ℓ ／10a	1000ℓ ／10a	8回以内	散布	8回以内

効果・薬害等の注意

- 使用直前に容器をよく振る。
- 石灰硫黄合剤との混用はさける。
- りんごに使用する場合、本剤の散布により、サビ果が多くなるおそれがあるので開花直前から落花後20日までの間は使用をさける。
- かきに使用する場合、梅雨明け以降の散布は果面に日焼け症状を生じるおそれがあるので使用をさける。
- 西洋なしに使用する場合、満開期より3~4週間後の養分転換期の散布、あるいは有機リン系殺虫剤との混用散布により、葉に薬害（褐色斑）を生じることがあるので注意する。
- 使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意

- 誤飲に注意。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 夏期高温時の使用をさける。



- 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用する。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換する。作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。



- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさける。
- 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域内に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。



- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。



- 魚毒性等…水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用する。養殖池周辺での使用はさける。水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は河川等に流さない。空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

〔保管〕：直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管する。

PRTR法に対応するその他の注意は別表の分類6、12に表示してある。(P244)